ダイコク電機株式会社

2022年6月

2022年3月期 決算説明会 質疑応答要旨

日時： 2022年5月26日（木） 10時30分～　場所： ベルサール八重洲

出席者： 代表取締役社長 大上誠一郎、常務取締役 大成俊文、

取締役 尾関貴夫、制御システム事業部長 平光和幸

Q1

半導体不足が、情報システム事業の製品やサービスに与える影響を教えてください。

A1

製品につきましては、主力であるCRユニット「VEGASIA」、情報公開端末「REVOLA」「BiGMO PREMIUM」への影響があります。一方、サービスにつきましては、「MIRAIGATEサービス」への影響はありません。

Q2

半導体不足が下期以降も改善しなかった場合、業績にどの程度影響するのでしょうか？

A2

前期下期からの電子部品不足に伴い、現在も主力製品の販売調整を続けていますが、下期はある程度回復すると想定しています。ただし、半導体不足が下期も継続した場合に備え、入手可能な部品での互換開発や中古製品での販売など、業績への影響を最小限にする対策を進めています。

Q3

御社はスマート遊技機にどの程度期待しているのでしょうか？

A3

今年11月にスマートパチスロが、来年1月にスマートパチンコが市場導入される予定です。中期経営計画に記載のとおり、情報システム事業・制御システム事業ともに、スマート遊技機の普及による今後の業績を期待しています。下期は、スマート遊技機の運用に必要となるCRユニット「VEGASIA」や、新たなゲーム性に対応した情報公開端末「REVOLA」「BiGMO PREMIUM」の販売、AI ホールコンピュータ「X」や MIRAIGATE サービスの普及を期待しています。

Q4

新たなMIRAIGATEサービスである「ClarisLink（クラリスリンク）」の導入状況や反響を教えてください。

A4

ホール企業様からの評価は高く、昨年の11月にリリース以降、前期末で複数の企業様に導入いただき、今期はその倍近いペースで導入いただいています。初のクラウド型MIRAIGATEサービスということもあり、開発スピードも早く、今後は SIS と並ぶ大きな柱にしていきたいと考えています。

Q5

御社はサステナビリティを推進していますが、企業価値の向上やリスク低減など、どのような目的なのでしょうか？

A5

3月に発表したサステナビリティ基本方針のとおり、当社はステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現とグループの成長を目指しています。「環境」については春日井事業所へのソーラーパネル設置を進めており、こちらは経費削減にもつながる取り組みとなります。「人材活躍」については働き方改革を推進し、総務省の「テレワーク先駆者百選」に認定されました。また「依存症」についてはギャンブル依存症チェックゲームをリリースし、多くの方々にご利用いただきました。今後もTCFD、人的資本の開示、SDGsなど、社会から求められている課題に対して積極的に取り組み、プライム企業としての価値向上につとめていきます。

以　上